

2022年1/12(水)18:30-20:30

Q&Aセミナー

(小野・平林)

18:30-19:30頃

【第 1 部】 基礎固め中の22目標の方向け

- p.2 論文対策について (事前質問 9 件) 論文対策の復習, 基準集, 暗記対象, 計算基礎固め etc.
- p.10 短答対策について (事前質問 9 件) 短答対策, 講義の優先順位 etc.
- p.15 その他 (事前質問 5 件)

19:30頃-20:30

p.18 【第 2 部】 23目標の方向け (事前質問 3 件)

18:30-19:30頃

【第1部】基礎固め中の22目標の方向け 事前質問内容

論文対策について

Q1/9. 論文対策について教えてください。とにかくテキストを暗記することが第一歩だと思いますが、テキストの暗記箇所は、「論文問題集+答練出題箇所」で十分でしょうか？例えば、財務理論の確認問題集[論文編]は、テキストを全部網羅していませんが、+答練出題箇所を押さえれば、合格点には届くという教材の設計をしているのでしょうか？(社会人経験有り専念生)

↓

A.

まず理解・納得した上で、**基準集**に載っているところ(処理・要件など)は頼るなど、暗記箇所を絞りましょう。

財務理論は、**確認問題集[論文編]**の主に**理屈部分**を説明できるようにすれば、合格点を取るために必要な重要論点を網羅できるように作っています。

確認問題に収録していない論点は、主に基準集に記載があるような処理部分か、もしも出題された場合には特段「暗記」をしていなくても一定の理解を示せば合格点に届くような論点です(2020年取替法、減耗償却など)。もしも今年他に重要な論点があれば、答練等で提供します。

確認問題に収録されていなくてもテキストは全ページ目には入れることと、**「章扉」ワード**に載っているような概念・基礎知識は、テキストを見なくてもざっくり説明できるようにしましょう。

Q2/9.

現在働きつつ論文に向けて勉強しています。財務計算のメンテの教材として、昨年度のアクセスを使っています。財務計算のアクセスは1時間ほど解く時間がかかるため30分程度でメンテできるものがないかと考えています。何かおすすめの教材や勉強方法はございますでしょうか？(社会人)

↓

論文アクセスなどについて、全て解き直さず、難易度Aの箇所のうち前回間違えたところを問題にマークしておいて、そこだけ20-30分で解き直す方法があります。短答アクセスのうち気に入った総合問題部分を使ってもよいです。

*2ページ参照

・ (1)

アクセス財務会計論第1回（論文式）解答

〔解答時間：60分〕

YO株式会社（以下、当社とする）の当期（自X3年4月1日 至X4年3月31日）に関する次の

〔資料〕を参照して、問1～問4に答えなさい。

問1 当期の財務諸表における以下の科目の金額（単位：千円）を、答案用紙の所定欄に記入しなさい。

- ① 退職給付費用 ② 株式報酬費用 ③ 租税公課 ④ 機械装置減価償却費
⑤ リース資産減価償却費 ⑥ 利息費用 ⑦ 受取配当金 ⑧ 有価証券利息
⑨ 有価証券評価益 ⑩ 支払利息 ⑪ 有価証券売却損 ⑫ 為替差損
⑬ オプション損失 ⑭ 法人税等 (税効果調整後) ⑮ 為替予約
⑯ 繰延税金資産 ⑰ リース債務 (流動) ⑱ 未払法人税等
⑲ 退職給付引当金 ⑳ 資産除去債務 ㉑ その他有価証券評価差額金
㉒ 繰延ヘッジ損益

問2 [資料Ⅲ] 6. の①～③に当てはまる金額を、答案用紙の所定欄に記入しなさい。

〔資料Ⅰ〕 解答上の留意事項

1. 計算過程で千円未満の端数が生じた場合は、最終数値を四捨五入すること。
2. 特に指示がない場合は、当座により取引が行われているものとする。
3. 直物代替レートは以下のとおりである。

X 3 年 3 月 1 日	99 円 / ドル	X 4 年 2 月 1 日	87 円 / ドル
X 3 年 3 月 31 日	95 円 / ドル	X 4 年 3 月 1 日	88 円 / ドル
X 3 年 4 月 1 日	94 円 / ドル	X 4 年 3 月 31 日	86 円 / ドル
X 3 年 8 月 31 日	91 円 / ドル	当期期中平均	90 円 / ドル

4. 答案用紙の記入にあたり、解答すべき金額がゼロの場合には「0」を記入し、貸借対照表における純資産の減少項目には「△」を付すこと。
5. 問題文から判明する以外の事項は考慮外とする。
- 一部

* 他のパターンで
出ても解けるのか
テキストに戻る.

一部
の解き直し

初見時
↓

029-6302-1094-15
三ノA(5) T=4T

$$\frac{2}{\gamma(a)},$$

1/3 (全)

4 A B E2
5 2122

【解 答】 問1 44点+ 問2 3点+ 問3 2点+ 問4 1点=50点

問 1 2点×22箇所=44点

2回目もミスした。207.

① B 14,815	② A 1,809	③ A 18,000
④ A $\times$ 20,118 for dep	⑤ B 8,203	⑥ A 48
⑦ A $\times$ 200 反配	⑧ B 7,360	⑨ A 300
⑩ B 12,959	⑪ A $\times$ 280 否去表	⑫ B 4,700
⑬ A 600	⑭ C 217,533	⑮ A 2,850
⑯ C $\times$ 63,840	⑰ B $\times$ 7,806	⑱ A 253,500
⑲ B 8,000	⑳ A 1,729 ARO	㉑ A Δ 455 = 500
㉒ A 520 for 1/20 for	$\times \dots$ 解... 7.33	

問2 1点×3箇所=3点

①	A	120	②	A	49	③	A	744
---	---	-----	---	---	----	---	---	-----

問3 1点×2箇所=2点

②	A	40	③	A	735
---	---	----	---	---	-----

問4 1点

A 3,040

初回時.
B・Cを
1問ずつ
解いて
Aに5問着手
できず。

dep. 受取 元取分.

3 ≧ 2
5 とは 2

1問解いて 10問解いて 10問解いて
A 11 B 7 C 2

問題を読む際、判断、時間配分を見直す

と化した難易度 A (時間があれば解けたのか試す)

Q3/9.科目別に、論文対策における理論科目の「テキストの暗記箇所」を教えてください。(社会人経験有り専念生)

↓

A.以下、目安です。

■財務理論…論文式確認問題の論点のうち、①基準集に載っていない重要定義（論文対策講義1回目レジュメ参照）、②理屈部分（基準集からは削除されて配付されるため）、③基準集に載っていない処理・要件（「～指針」など。これは3ヶ月に1度軽く確認などでもOK）

→ 次ページ
参照

■監査論…論文対策問題集で出題されている定義・論証

■企業法…条文に載っていない要件・規範定立部分・定義（「事業」など）

※制度趣旨は、他の科目とは異なり、自分の言葉で書くと逆に高く評価されることがある。

■管理会計…直前期は、テキストのうち論文理論問題集の論点を厚めに。

計算のために、テキストで**言葉の意味・計算処理の目的・長所/短所など**を理解し、ある程度テキストを閉じて説明ができるようにする（問題文の読み取りができるようにする）。

参考：会計学「論文式試験 参考法令基準集」の使い方

(1) 載っているもの（論文で暗記不要）

- 見出し横に「～基準」と表示されている論点の、**具体的な処理方法や適用要件**
- 各会計基準の**前半部分**（項番号が小さいもの）は載っている（後半の理屈部分は載っていない）。

ex.
引当金の4要件（企業会計原則 注）
ファイナンス・リース取引の定義、ヘッジ会計の意義
金融資産の消滅の認識 支配の移転3要件
金利スワップの特例処理の適用要件
連結の範囲 支配力基準
分離元企業・被結合企業の株主の処理
キャッシュ・フロー計算書 資金の範囲

処理は基本的には載っている。

理屈部分も説明できるように意識。

(2) 載っていないもの（覚える必要がある）

- 各会計基準の後半部分にある「結論の背景」という**理屈部分**（項番号が大きいもの）は、論文式試験では参照できないように「xx-xxx項 略」などと表示され配付される。
- 「～実務指針」「～適用指針」（脚注の細かい規定など）、「財務会計の概念フレームワーク」、「連続意見書」「論点整理」、企業会計審議会時代の基準「設定意見書」は載っていない。

ex. 研究開発費 なぜ発生時費用処理か。

(3) 自習時（基本的には12月短答以降使用でOK）

- 論文式確認問題の該当箇所について、定義や要件などの**暗記が必要か迷ったら**、見出し横に「～基準 注14」など書いてある場合には法令基準集を確認し、暗記の負担を減らす（基本的に、載っていない定義や要件については、覚えるように講義中指示がある）。
- 法令基準集の目次（左側から開く）に目を通し、テキスト各章との対応関係を把握。

(4) 論文答練・本試験時 処理が問われたら、理屈も書く。

- 具体的な処理方法や判断基準**、条文番号などが問われた時に、目次に基づき検索する。
- テキストの章ごとのページ構成と概ね一致(収益認識に関する会計基準以外)。定義等→処理→開示。
- やみくもに探して時間を費やさない。見つからない時は後回しにして他の問題・計算問題を取る。

法令基準集を用いる問題の出題例(2020、2021年本試験でも出題)

2019年第5問 分離元企業の会計処理（関連会社に事業分離 対価株式）

【問】

X2年度期末において、〔資料Ⅱ〕3. の取引についてZ社が行うべき個別財務諸表および連結財務諸表における会計処理を、現行基準に基づいて説明しなさい。

【解答例】

本問の取引において、Z社は、事業投資である関連会社A社への影響力の行使を通じて、移転したZ1事業に関する**事業投資を引き続き行っている**と考えられる。そのため、Z社は、個別財務諸表上、Z1事業に関する**投資が継続**しているとみなして、移転損益は認識せず、受け取ったA社株式の取得原価は移転したZ1事業に係る株主資本相当額に基づいて算定する。

そして、連結財務諸表上は、関連会社A社に対して持分法を適用し、A社に対して投資したとみなされる額とA社に係るZ社の持分の増加額との間に生じる差額をのれん又は負ののれんとして処理する。また、Z1事業が移転されたとみなされる額とZ1事業に係るZ社の持分の減少額との間に生じる差額は、持分変動差額として処理する。

参考

法令基準集を用いる問題の出題例(2020、2021年本試験でも出題)

2019年第5問 分離元企業の会計処理（関連会社に事業分離 対価株式）

※「□」内は解答に引用する条文

【問】

X2年度期末において、〔資料Ⅱ〕3. の取引についてZ社が行うべき**個別財務諸表**および**連結財務諸表**における会計処理を、現行基準に基づいて説明しなさい。

【解答例】

本問の取引において、Z社は、事業投資である関連会社A社への影響力の行使を通じて、移転したZ1事業に関する**事業投資を引き続き行っている**と考えられる。そのため、Z社は、**個別財務諸表上**、Z1事業に関する**投資が継続**しているとみなして、**移転損益は認識せず**、受け取ったA社株式の取得原価は移転したZ1事業に係る株主資本相当額に基づいて算定する。
そして、**連結財務諸表上**は、関連会社A社に対して持分法を適用し、A社に対して投資したとみなされる額とA社に係るZ社の持分の増加額との間に生じる差額をのれん又は負ののれんとして処理する。また、Z1事業が移転されたとみなされる額とZ1事業に係るZ社の持分の減少額との間に生じる差額は、持分変動差額として処理する。

処理部分の記述は基準集を参照可能

2018年第4問 売買目的有価証券、運用目的の金銭信託の処理

第5問 のれんの変動事由（企業結合会計基準を参照との指示あり）

※……附記の負担を減らすに便利(取扱い)。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

2000年度までの基準改正主体。

目次	ページ
国家資産の譲渡に係る会計基準	42
一 対象資産	42
二 譲渡後の譲渡と譲渡	42
三 譲渡後の譲渡と譲渡	42
四 譲渡後の譲渡と譲渡	42
五 譲渡後の譲渡と譲渡	42
六 譲渡後の譲渡と譲渡	42
七 譲渡後の譲渡と譲渡	42
八 譲渡後の譲渡と譲渡	42
九 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十一 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十二 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十三 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十四 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十五 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十六 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十七 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十八 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十九 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十一 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十二 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十三 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十四 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十五 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十六 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十七 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十八 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十九 譲渡後の譲渡と譲渡	42
三十 譲渡後の譲渡と譲渡	42

2019年第5問で使用

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

事業分離に関する会計基準

目次	ページ
事業分離に関する会計基準	42
一 対象資産	42
二 譲渡後の譲渡と譲渡	42
三 譲渡後の譲渡と譲渡	42
四 譲渡後の譲渡と譲渡	42
五 譲渡後の譲渡と譲渡	42
六 譲渡後の譲渡と譲渡	42
七 譲渡後の譲渡と譲渡	42
八 譲渡後の譲渡と譲渡	42
九 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十一 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十二 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十三 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十四 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十五 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十六 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十七 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十八 譲渡後の譲渡と譲渡	42
十九 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十一 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十二 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十三 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十四 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十五 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十六 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十七 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十八 譲渡後の譲渡と譲渡	42
二十九 譲渡後の譲渡と譲渡	42
三十 譲渡後の譲渡と譲渡	42

引用する

Q4/9.

論文対策についてです。

財務理論テキストの暗記すべき「章」の優先順位を教えてください。現在、「論文基礎答練_出題範囲一覧」に記載のある下記の章について確認問題集を使用して暗記作業を行っています。

9章:リース取引、11章:研究開発費等、14章:純資産-自己株式、16章:財務会計の概念フレームワーク、18章:金融商品会計、19章:連結会計、25章:固定資産の減損、26章:棚卸資産の期末評価、30章:企業結合

しかし、この後、どの章から取り組めば良いのかが不明です。上記以外の「章」について、どの章から取り組むのが効率的か(優先順位)を教えてください。

2～6章は、直接は出題範囲となっていませんが、基礎概念が詰まっており超重要です(1章はざっくりでもOKです)。テキスト前半は企業会計原則に載っている内容も多いですが、後半の章にも関わる重要概念が多く登場します。

例えば、以下の概念を理解していないと、他の章の理解・暗記が表面的になり、論点ズレなどを起こしやすいです。

資本取引とは、現金主義会計と発生主義会計の違い、狭義の費用と広義の費用、損失とは何か、費用配分とは、実現の2要件とは、費用収益対応、損失を資産として繰り延べてはいけない理由、「発生費用」と「期間費用」の違い、個別的対応と期間的対応、収支額基準、一致の原則、減価償却とは

具体的には、**出題範囲に関わらず基本的に章を飛ばさず後ろへ向かって復習を進める**ことと、以下のように複数章にまたがって取り組むことをおすすめします。暗記の強弱や章順番は論文重点出題項目を多少参考にしてもよいですが、財務理論は一番受験生が力を充てる科目であることを意識しましょう。

- リースや研究開発費等、資産関連の章に取り組む際に、2章基礎概念・5章損益会計、資産会計総論を併せて復習
- 自己株式に取り組む際に、2章資本取引、13章純資産総論と一緒に復習
- 連結会計と一緒に、2章資本取引と一緒に復習
- 固定資産の減損・棚卸資産の期末評価と一緒に、6章・7章・8章と一緒に復習

Q5/9.財務理論の問題集で論文編については、模範回答が掲載されていないので、自分の記述が正しいのか判断が付きません。模範回答のようなものはないのでしょうか？

↓

A.確認問題は論点リストのように使うイメージです。丁寧に説明し切ると、テキストの該当ブロックが模範解答となります。主に点線が引かれた箇所が思い浮かべられているかを意識しましょう。特に、**理屈部分（～であるため、などのパーツ）**は基準集に載っていないため、説明できるようにしましょう。論文式確認問題の具体的な使い方については、**12/14(火)実施短答後ホームルーム**動画の後半やレジュメをご覧くださいませ。

Q6/9.2022年目標です。アクセス、答練以外(例えば管理の論文問題集等)論述問題の添削を行っていただきたいのですが、そのような機能はありますか？よろしくお願いします。

↓

質問コーナーで見せていただければ、気になる点の指摘などは可能です。

Q7/9.R3年の論文試験で配布された基準集を使っているのですが、R4試験対策をやるにあたり、不都合が生じる科目はあるでしょうか？

↓

監査論・租税法は改正があります。企業法と会計学は、今のところ大きな改正はないためそのままだでも問題ない見込みです。

Q8/9.

経営学の質問です。講義や学習法セミナー等で、公式の展開を出来るようにと説明がありましたが、その重要性がいまいちピンとこないです。公式の展開を理解することのメリットを教えてください。

↓

A.公式の展開の理解というよりも、「公式を使って」章末問題や問題集の主に「レベル1」を解き、式の操作ができるようにしましょう（右辺から左辺に移項、分数式の扱い、など）。

Q9/9.

小野先生へ質問です。

21年論文を受けて、会計学第3～5問の凹みが大きかったので、計算の基礎固めを徹底したく、論文対策講義を後回しにしています。

今財務計算は、論文不合格発表～12月末までは、論文論点チェックリストの範囲をすべて例題確認&苦手単元はweb論点受講で、1回転し終えました。

論文答練・論文アクセスの範囲予習をペースメーカーにして2回転目の計算復習をはじめているところです。
まだ理解できないものもあり、質問しなくてはならないことが多く残っています。

①今、理解を深めて基礎固めをし直すために時間を費やしていますが、小野先生が考える、「基礎固めができている」と思っても良い目安は何ですか。

②論文再スタートでの基礎固めで大切なこと、注意点があれば教えてください。

とにかく財務計算が凹んだことがトラウマで(答案分析や科目ごとの個別面談はしっかり昨年中に終えています)

基礎的な計算力に本当にこれで良いのか、足りているのか、など去年より不安を抱えながら勉強をしています。

③この調子で3月まで進み、論文対策講義は4月の公開模試前から8月の本試験までの間に受講していても、問題はないでしょうか。注意点があれば教えてください。(社会人経験有り専念生)

↓

インプットが足りないのか、反復練習が足りないのか、直前期のメンテナンスの問題か、解く際の時間配分ややさしなのか、理論の理解が不足しており問題文が読み取れないのかなど、偏差値が凹んだ原因を明確にしましょう。

論文アクセスで難易度Aの箇所が自信を持って解ける状態、テキスト例題をぱっと渡されて問題なく解ける状態、テキスト目次を見て論点が浮かぶ状態を目安とするとよいと思います。

インプットはある程度さらってらっしゃるので、今後は論文アクセスや答練を準備して受け、アウトプットを通じて穴を発見することがメインになります。計算と理論を一緒に復習することで理解は深まっていきます。

計算の論文対策講義は、アクセスや答練の他にアウトプット機会(過去問演習)を取りたい方向けですので、全て受け切る必要はありません。6月以降の直前期はメンテナンスや暗記事項の詰めなどもあるため、優先順位は低くなります。

<計算のポイント>
by 小野さん

→ 再度テキストへ
一般化 & フローチャート
には、なるか?
2022年1/12(水)Q&A
P.9
リーズ 総復
習 現在
価値

リーズ
+ さら...
ファイ
ナンス
オペ
レーティング
移
外
た
負債

なぜか知らない。

ex. 複利合・(事件と絡めて)

理 = 1/7

具体的には分析
AがX? B.CがX?

短答対策について

Q1/9. 上級講義(特に計算科目)や基礎マスターの復習(トレーニングなど)、アクセス答練の優先順位が分からず、分量も多いのでなかなか手が回りません。5月の短答に向けて、効率の良い学習法をご教示ください。インプットもアウトプットも中途半端で不安です。(専念生)

↓

A. もし上級講義が終わっていなかったり、トレーニング復習がまだ手薄ということであれば、基本的な学習のスケジュール・各科目の教材の優先順位は、**7/2実施上級期学習法ホームルーム**を参考にしてくださいませ(「7月」→1月、「8月」→2月、「9月」→3月と読み替える)。

基礎マスターの復習には、今からだと、パワーアップ問題の代わりに論文アクセス(範囲を見て例題等を予習。特に「難易度A」の箇所について自信を持って取れるか意識)を活用されるのがよいと思います。

トレーニングのうち特にテキスト①～④の論点はスラスラ解けるまで復習することと、**短答アクセス**を最低週1のペースで進めて、終わったものは自信を持って解けるようになるまで毎日繰り返し解くこと・解けなかった理由は分析することが基本の学習となります。

テキスト ↔ 問

Q2/9.

2022年目標の者です。去年の12月の短答の財務計算が56点でした。短答後、実力テスト、パワーアップ、トレ総合を一周目を通して、論点チェックリストに一元化しました。触れていない論点もなく、理解出来ない部分もないので、これ以降レベルアップを測っていくにはどう勉強を進めて行けば良いでしょうか。(社会人経験有り専念生)

↓

A. 理解できない点がなくなったら、自信を持ってスラスラ解けるのか? 試験中に手が止まらないか? を意識して、必要なものは解き直しをしましょう。論文アクセスに向けて準備をするとよいと思います。12月短答について、目標点の88点までにあとのような力が足りないかを分析しましょう(インプットの穴、メンテナンス、取捨選択、やらかし、スピード、理論の理解など)。

3月13日 - 短答対策. 点数は取れたか.

Q3/9.5月短答受験となり、現在財務計算と管理の基礎固め中のものです。

財務は連結・企業結合・キャッシュを中心に、管理の計算は1からやり直しています。

財理は毎日1時間で理屈の確認をしています。(企業と監査はやれたら20分程度という感じです)

計算の基礎固めが1月中に終わりそうになく、2月中に仕上げを目指していますが、それと並行に論文アクセスと租税経営を週一で受ける方向です。時間の配分上、この方向は大丈夫でしょうか、なにかアドバイスをお願いいたします。(アルバイト・パート就業中)

A.

12月時点でどのような状態か（インプット不足か、暗記不足か、アウトプット不足かなど）によりますので、時間配分はあまり固定せず、各科目の先生と相談しながら進めましょう。例えば、仮に監査論について大きくインプットが足りない場合、今からもう少し理解強化に充てる必要があります。

Q4/9.22年目標の上級Wチャンス本科生です。12月の短答で、財務62%、管理37%、監査65%、企業45%、総合54.2%でした。66%から大きく離れているので、短答科目に特化し、租税・経営はやらない方がよいでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。(社会人経験有り専念生)

↓

A.各科目の講師に相談に行きましょう。凹み方を見る限り、租税の法人税や所得税・消費1回転目あたりまで（上級4回目・9回目など）や経営の10回目まで、3月末までに受けてもよいのではという印象です。

企業法の凹みは5月までに問題なく伸ばせるはずなので論文対策も含めて相談しましょう。

財務124点のうち、計算がどの程度自信を持って処理出来ているか気になりますが、集計力不足や読み飛ばしなどであれば論文アクセスや論文答練などを通じて伸ばせます。

管理計算について、Q4個別・8標準・10品質原価計算が全く太刀打ちができない状態であればかなりまずいので、場合によっては租税経営講義受講を絞る可能性があります。

(専念ということなので、やる気が出ない時間帯などに気分転換の代わりに租税経営講義を受ける、論文科目の自習はやり過ぎないように夕方以降にする、などの扱いで進めるのがよさそうに思います。)

Q5/9.

財務計算と管理の補論のVTRは早急に取り掛かるべきなのでしょうか、または別にやらなくても良いのでしょうか。

↓

A.

財務計算の~~上級~~補講は特殊商品売買を除き受講することと、管理の補講も受けましょう（21年論文で出題されています）。

帳簿は二重に記録除おえる。

Q6/9.

財務アクセスを繰り返し解き、基礎固め中です。今さらなのですが、復習で解く際、制限時間内に解けるようにした方がいいですか？それとも最初の何回かは時間かけても解ききる→だんだん60分ではかる、などした方がいいですか？また管理も同じようなやり方でいいですか？

↓

A.短答アクセスの場合…丸ごと解き直すというよりも、問題ごとで5分間などそれぞれ制限時間以内を目指すようにしましょう（仮に丸ごと解き直しても時間が足りるようになる）。

論文アクセスの場合…難易度Aを全て解き切れる（もしも余った時間があれば難易度Bを数問解く）という状態が目標です。取捨選択のために難易度B・Cも入っているため、全て解き切ろうとすると、復習に時間がかかりすぎることになります。論文アクセスの初回解説講義を参考にしましょう。難易度Aで間違えたところのみを20分～30分で解く、などの復習が主になってきます。

管理の論文アクセスは解き切れると思いますが、「その問題が解ける」ことよりも、「テキストの関連するページが明確に思い浮かぶ」状態を目標としましょう。

BM期…正確に。や、これでOK.

* (1)



マ-7. (レジメ p.3 参照)

Q7/9.

過年度生で12月短答まで独学でしたが思うほど伸びず、現在5月短答→8月論文を目標にしている通信生の者です。

短答後に上級ストレートに申し込み、教材が届いたのですが、大量のためどれから手をつけるべきかわからず、結局なにもできていない状況に陥っております。

そこで、いま現在配信されている中で優先すべき講義や使うべき教材がございましたら教えていただけますと幸いです。

ちなみに、私の成績の現状は監査以外インプット不足、特に平均以下の財理・企業というところです。(企業は質問コーナーでなにをすべきか教えていただきました。)

企業法以外についても、早めに各科目の講師に質問に行きましょう。

以下、ざっくりですが参考にさせていただければと思います。

◎インプット強化（全科目共通）…苦手な論点についてWeb論点別講義を受講（集中できない時間帯など）

■財務計算…例題、トレーニング、短答アクセス→論文アクセス、場合によっては論文基礎答練活用

■管理…テキスト・例題集、トレーニング、短答アクセス→論文アクセス、場合によっては論文基礎答練活用

■財務理論…テキスト・短答式確認問題（使い方は8/18Q&Aセミナーを参考）・論文式確認問題→2月以降短答アクセス

■監査論…テキスト・論文対策問題集（Point部分をテキストのダイジェスト版として参照）・短答問題集→2月以降短答アクセス
（併行して論文基礎答練受験してもOK）

短答対策講義（過去問演習）はおそらく手が回らないため受講できないかと思います。もしも基本の短答問題集やテキストを復習した上で、もっと短答直前答練までにアウトプット練習がほしいという場合には使う可能性があります。独学で進めていっちゃったということは既に過去問は触れていらっしゃるかと思いますので、その点でも受ける必要性は低いです。

論文対策講義は、8月論文を考えると監査論（最初の数回でも）、企業法冒頭3回、財務理論第1回は受講がおすすめです。

Q8/9.

22年目標で管理会計が12月が41点だったため管理会計のテコ入れに取り組んでいます。1月末迄には未受講の講義視聴が終わる予定ですが、その後の取り組みについてご相談です。

2月3月で基礎短答答練、アクセスを解いて出来なかったところをテキストに集約していくイメージで進めようと思いますが、直前期前の期間はそのようなイメージでよろしいでしょうか。また、解けなかった論点はトレーニングに戻った方がよろしいでしょうか。なお、財務会計は短答免除ではありますが、アクセスを中心にテキストの論点を確認しようと思いますが、いかがでしょうか。よろしくお願いいたします。

↓

A.早めに管理の先生に相談に行きましょう。アクセスや答練で解けなかった論点は、反復練習や処理の整理ができていないことが原因であれば、テキストだけでなくトレーニングまで（電卓を入れなくても、トレーニングの問題を見てテキスト該当箇所を思い浮かべつつ処理を明確に説明できるか確認など）戻る必要があります。先日の12月短答であれば、Q4個別,Q8標準,Q10品質原価計算が自信を持ってストレスなく解ける状態が目標です。

財務会計は基本的には論文アクセスとテキスト確認でよいと考えられます。論文答練の扱いはぜひ質問コーナーでご相談くださいませ。

Q9/9.12月短答でボーダー以下だった者です。短答前と勉強法が変わっておらず、このままだと同じ結果になるのではないかと毎日不安です。計算で得点を稼げるようになりたいのですが、基礎マスターのパワーアップや実力テストに戻って勉強するべきでしょうか（社会人経験有り専念生）。

↓

A.

得意は
苦手は
論文個別.特定

と過去問集や、2冊。
まず「易」

その他

Q1.

現在大学3年生です。就活をどうしようかと悩んでいるのですが、具体的なアドバイスを頂けるととてもありがたいです。

↓

A.例年だと気になる会社の説明会だけ参加して就活はしない方が多いのですが、最近は就活もオンラインで負担が少ないため、勉強と両立される方もいらっしゃいます。**詳しくは、下記就活サポートまで一度ご相談くださいませ。**

TAC会計士講座 就職サポート

フリーダイヤル 0120527699（平日14～17時）

メール counselor@tac-school.co.jp

※監査法人への就活・転職以外にも、会計事務所等や一般事業会社への就職・転職や、仕事を辞めて受験専念にするか、卒業後働きながら受験を継続するか、受験対策を辞めて就職する場合のエントリーシートの書き方等の相談などありましたら、ぜひ相談してみてください。zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

Q2.

- ・何度か学習相談の予約を取ろうとチャレンジしているのですが、なかなか予約が取れません…。
- ・成績相談学習相談の対応ができるのは久野先生と平林先生以外にはいらっしゃらないのでしょうか？予約したくともすぐに埋まるので困っています。

↓

通常の各科目の質問コーナーでも各講師が成績相談・学習相談を承っていますので、ご利用くださいませ。

個別相談の枠としては、久野先生・平林以外に関西で塚本先生が対応してくださっているほか、増枠・増員を検討中です。

Q3.

質問メールの回答が遅いのですが、もうすこし早くならないでしょうか？忘れた頃に回答が来ることもざらにあるので改善して頂きたいです。
質問メールの回答に対して理解が出来なかった場合、返信頂いた講師を除外して再度同じ質問に対する回答を頂くことは可能でしょうか？

↓

- ・質問メールの回答期間につきましては、改善に向けて取り組んで参ります。ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。大変多くのご質問を頂戴しているほか、ご質問内容によってはお時間を頂戴する場合がありますこと、何とぞご了承くださいませ。
- ・回答者の指名（除外）につきましては、恐れ入りますが承っておりませんのでご了承くださいませ。

Q4.

5月短答の合格者数や合格率は例年どれぐらいになるのでしょうか？12月短答と異なる点があれば教えて頂きたいです。

↓

短答免除者・12月短答の合格者数と合わせて、論文受験者が4,000名弱・論文合格者が1,350名強などになるように調整される見込みです（12月の合格者数が少なければ、5月の合格者数が増えます）。例年だと5月の方が内容的に細かめの出題となる傾向がありましたが、2020年実施8月短答（延期のため5月ではなく8月に実施）は12月短答（ボーダーが57%）よりも難易度的には易しくなったため、一概には言えません。

12月と大きく異なる点として、1～3月に掛けて論文アクセス/答練や論文対策を行ってから短答受験となるため、理屈を土台として、テキストのかなり細かい知識まで詰め切ってくる受験生が多い印象です。特に財務理論・監査論は、短答問題集だけの回転などでは競り負ける可能性が高いため、論文用の教材を活用して、理屈をざっくりでも説明できることを意識しましょう。

Q5.

12月末のQ&Aでコース変更について耳にしたのですが、もう少し具体的に教えていただきたいと思いました。

22年目標から23年目標に切り替えようと思うのですが、それとコース変更は何か関係があるのでしょうか。また、コース変更をすることの利点・難点などありましたら教えていただけないでしょうか。

↓

基本的には、使用する教材や講義がすべて新しいコースのものになります。

22目標から23目標に切り替えた場合、今まで配信済みの22目標の講義は見られなくなります。

コース変更にあたっては、差額の受講料が発生します。お手続き方法等の詳細は、TAC各校舎へご相談ください。 @C.P.A.

【メリット】ライブ講義で再度受講し直したいという場合には、23目標の講義に合流できます（現在2年コースが基礎マスター3、1.5年コースが基礎マスター1後半など）。23目標の方が22目標の短期集中コースに切り替えた場合には、23目標だとまだ見られない財務理論・監査論・各科目上級講義などが、先取り学習のような形で視聴可能（8月末まで）となります。

【デメリット】今22目標から23目標に切り替えても、まだ配信されていない講義が多いです。

22目標の方で仮に今年の12月短答をメイン目標とする場合であっても、5月末もしくは8月末まではこのまま22目標のままで復習を進めて、6月から23目標の上級コース（上級Wチャンス本科生など）に申込み、苦手論点のみ「web論点別講義」（上級本科生コースに付属）で受け直して7月からのアクセスに合流、という流れがおすすめです。

19:30頃-20:30

【第2部】23目標の方向け 事前質問内容

違うパターンだとどうなる？
初度、テストへ戻す

ex. 週3回果
「易」

Q1/3.財務会計の勉強方法は講義を受けたあとトレーニングをひたすら解いて内容を理解する。という勉強方法でいいのでしょうか？おす
すめの勉強方法があれば教えて頂きたいです。

↓
A.テキスト目次などを見て、処理や関連論点を思い浮かべられるか試してみましょう。また、実力テストやパワーアップ問題など
まとまった問題を使って、一気に複数論点の復習を図るのもおすすめです。

二つめに戻す。 土日などは戻す
スキマ時間。
想記

Q2/3.ほぼフルタイムでアルバイトしながらの学習者です。授業の消化(+その復習)で精一杯で、以前の学習内容の復習があまり出来てお
らず、年末年始も思うように進みませんでした。また進行中の授業の内容も、次の講義までの復習が不十分だと感じています(問題を解けるレベ
ルまでの理解が難しいです)。地方の校舎なので、中々質問する機会が少ないのも一因だと感じています。週の学習時間の目安は30~40時間
ですが、上級期に向けてどのように学習を組み立てて行けばいいのでしょうか。

↓
A. テスト見直しは必要 → 必要。

Q3/3.最近漠然とした不安があって、合格するビジョンが浮かばず、自分にできるのだろうかと不安に思い自信を無くしてしまっています。ど
うすればメンタルを上向きに持っていけるでしょうか。

↓
A. * 次にやるもの・問題を
　　聞いておく。
　　自分の短期目標
　　ニテ。 見テ。

なぜと中途半端な
ところで作成
cf. ツマヤガルニ7効果

<Q&A>

p.19

2022年1/12(水)Q&A

【MEMO】

Q. ミニテ. 案テ 取ルていふ.

他に?

- ・ トレ 解答用問題
- ・ パワーアップ
- ・ 過剰問
- ・ 仕訳.

(・ 斜問のバランスは?)

BM2.

Q. 案テ 取ルていふ.

トレ・ミニテはOK
/o

テもスト. 対スル.

CF番号.

↳ 横山. 仕訳 a/c台所